



Aidemy Corporate Identity

Aug 1st, 2017

Index



Introduction	03
Visual story	04



Logotype Guideline	05
Corporate Logotype	06
Corporate Color	07
Symbol Color	08
Minimum Logo Size	09
Isolation Area	10
Solid Color	11
Color Contrast	12
Background Image	13
Restrictions	14



Typography	15
Font Weight	16

Introduction

Visual Story

AI（人工知能）+ Academy

Aidemy は AI（人工知能）プロフェッショナルになるための教材やコードレビューを提供する、オンラインの学習支援サービスです。独学では習得が難しい人工知能に関する知識を実践的に学べるオンラインゼミ（アカデミー）として、AI + Academy = Aidemy と名付けられました。



コーポレートロゴタイプ

Aidemy のコーポレートロゴタイプは、曲線と直線を融合したオリジナルのフォントを用いることにより、Aidemy が世界へ向けて提供するサービスの先進性とバランスが表現されています。さらに、ロゴタイプのカラーリングにグリーン × グレーを組み合わせることにより、AI の持つ力をひと目で感じることができるでしょう。シンボルマークにはすくすくと伸びゆく幾何学的な樹木に色とりどりの果実が実り、まるでニューロンを繋いでいくかのようにそれぞれの実が互いに関連し合いながら育ち咲き誇るさまを表し、Aidemy という学び舎から得られる可能性や普遍性を体現しています。



※人工知能（じんこうちのう、英：artificial intelligence、AI）とは、人工的につくられた人間のような知能、ないしはそれをつくる技術（東京大学大学院工学系研究科准教授 松尾 豊）－『人工知能学会誌』より

Logotype Guideline

Corporate Logotype

コーポレートロゴタイプ

コーポレートロゴタイプ（以降コーポレートロゴ）は、いわば会社の顔のようなものであり、コミュニケーションにおいて最も重要な視覚的要素です。これらのコーポレートロゴを正しく使用していくことでイメージや方向性を正確に伝えることができます。コーポレートロゴを表示する場合は、再現用データを使用し、正確に表示することが原則です。

ロゴタイプのレギュレーション

ロゴのレギュレーションを設定し一貫性を保つことで、メッセージ、考え方、ビジュアルなど Aidemy コーポレート全体の表現が統一され、正しくコミュニケーションを図ることができます。

コーポレートロゴ



コーポレートロゴ+シンボルマーク



シンボルマーク



シンボルマーク+ロゴ



Corporate Color

コーポレートカラー

コーポレートカラーはコーポレートイメージの統一性を図る上で重要な役割を果たします。コーポレートの独自性を視覚的に認識できるように設定されている色がコーポレートカラーです。常に規定の色を正確に表示することが必要です。

プロセス・RGB・モノクロカラー設定

表示される媒体によって表示されるコーポレートカラーの色味は変わります。プロセスカラー（CMYK）で表示される場合、RGB カラーで表示される場合や、モノクロで表示される場合を考えて、いくつかのパターンを設定する必要があります。WEB サイトや PowerPoint、スマートデバイスなど、液晶画面で表示されるものには RGB カラーで設定し、印刷物などには CMYK カラー、新聞や雑誌など主にモノクロで印刷される場合には、モノクロの色設定をあらかじめ用意する必要があります。ロゴタイプやコーポレートコーポレートに関連するコンテンツに使用できるメインカラーは次の通りです。

コーポレートカラー

Aidemy Green
CMYK 58 8 78 0
RGB 118 181 91
HEX #76B55B

Aidemy Coralpink
CMYK 8 58 28 0
RGB 227 135 145
HEX #E38791

Aidemy Orange
CMYK 8 38 58 0
RGB 221 166 106
HEX #DDA66A

Aidemy Turquoise
CMYK 58 0 28 0
RGB 104 195 154
HEX #68C3C2

Aidemy Darkgray
CMYK 10 0 10 70
RGB 104 108 104
HEX #686C68

Symbol Color

シンボルカラー

ロゴタイプと同じく、コーポレートシンボルのカラーもコーポレートイメージを表現する上でとても重要です。シンボルはコーポレートの独自性をアイコンとして、イメージや方向性を視覚的に明示し、理解を定着させることができます。コーポレートカラーと同様、シンボルカラーも常に規定の色を正確に表示することが必要です。

プロセス・RGB・モノクロカラー設定

多様な表現が求められる場合において、コーポレートカラーだけでは色数が足りないことがあります。その際、コーポレートカラーに加え、シンボルに使用している色をサブカラーとして使用することが可能です。シンボルカラーに関連するコンテンツに使用できるカラーは次の通りです。

シンボルカラー

		Aidemy Gray CMYK 8 0 8 48 RGB 153 159 155 HEX #999F9B	Aidemy Darkgreen CMYK 58 28 58 RGB 122 157 121 HEX #7A9D79
Aidemy Darkcyan CMYK 78 8 28 0 RGB 0 168 185 HEX #00A8B9	Aidemy Blue CMYK 68 28 8 0 RGB 79 152 201 HEX #4F98C9	Aidemy Limegreen CMYK 38 0 48 8 RGB 163 203 149 HEX #A3CB95	Aidemy Lemonyellow CMYK 18 8 68 0 RGB 221 218 105 HEX #DDDA69
Aidemy Purple CMYK 48 58 18 8 RGB 142 111 150 HEX #8E6F96	Aidemy Darkmagenta CMYK 38 78 18 8 RGB 162 77 130 HEX #A24D82	Aidemy Carmine CMYK 18 88 28 8 RGB 194 55 110 HEX #C2376E	Aidemy Sakurapink CMYK 8 48 8 0 RGB 229 158 185 HEX #E59EB9

Minimum Logo Size

最小表示可能サイズ

印刷物においてコーポレートロゴを表示する場合に使用できる最小サイズです。これ以下のサイズでは使用できません。

WEBでの表示など、印刷物以外での利用においては、条件が異なるため特別に定めていませんが、個々の適用物に応じた再生可能な限界を、それぞれの最小表示可能サイズとします。

最適に表示するためのサイズ規定

印刷物などでコーポレートロゴを使用し表示する場合、最小表示可能サイズ以下で配置すると、細部がつぶれ、再現性やコーポレートイメージを低下させる恐れがあるため、必ず最小表示サイズを守って使用してください。また、各ロゴタイプで最小表示可能サイズが異なりますので、注意してください。

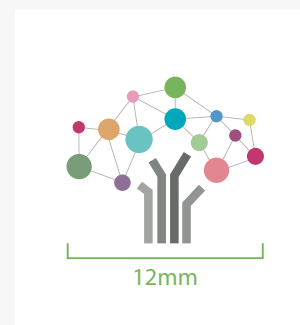
コーポレートロゴ



コーポレートロゴ+シンボルマーク



シンボルマーク



シンボルマーク+コーポレートロゴ



Isolation Area

アイソレーション

アイソレーションエリアとは、コーポレート要素を常に正しく認識できるように、周囲に一定の余白を確保し、そのスペース内に他の図形等の要素が入らないように規定したものです。これはコーポレートロゴが他の表示要素に紛れたり、印象を損なわないために必要な余白です。また、このエリアに個性の強い図形や文字等を配置してしまうとロゴの独自性や象徴性、機能性が弱められ、ロゴの視認性が失われるだけでなく、望ましいコーポレートイメージを伝達することができません。アイソレーションエリアの範囲外であってもコーポレートロゴの近辺に個性の強い図形や文字等を配置することはできる限り避けてください。

ロゴ周辺を保護するための余白

ロゴを表示する際には、ロゴ周辺に必ず一定のアイソレーションを設けなければならず、アイソレーションエリア内には他のデザイン要素や文字などをのせることができないルールになっています。ロゴのサイズをXとすると、0.5X以上の大きさを最低限のアイソレーションゾーンとして確保する必要があります。各ロゴタイプによってアイソレーションの大きさに違いがある点に注意して利用してください。

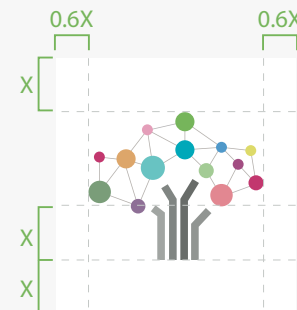
コーポレートロゴ



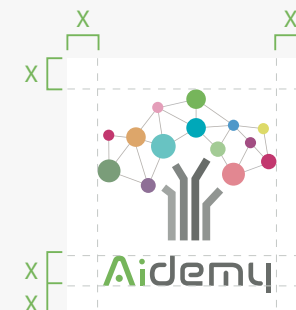
コーポレートロゴ+シンボルマーク



シンボルマーク



シンボルマーク+ロゴ



Solid Color

モノクロ表示とソリッド表示

ロゴのカラー表示に関して、ガイドラインで決められたコーポレートカラーであるのが基本です。

その他に、モノクロ表示とソリッド表示にも対応しています。コーポレートカラー以外の使用については、媒体の特性を活かした幅広い表現効果を期待する場合や印刷時のさまざまな制約、および制作コストの制限などから、やむを得ずコーポレートカラーの使用が不可能な場合に利用してください。

ロゴ表示の種類

コーポレートロゴ自体の表示は基本的にホワイトでの利用が望ましいでしょう。しかし、カラーの背景や画像、イラストにロゴをのせることは可能です。また、複雑な背景にコーポレートロゴをのせる場合、ロゴタイプがはっきりと視認でき、かつ会社名が判読できるよう留意してください。

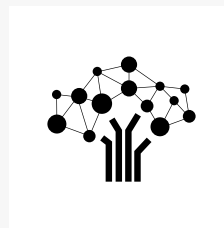
ソリッド - ポジティブ表示



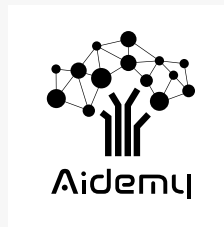
ソリッド - ポジティブ表示



ソリッド - ポジティブ表示



ソリッド - ポジティブ表示



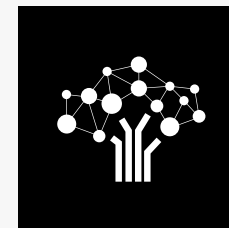
ソリッド - ネガティブ表示



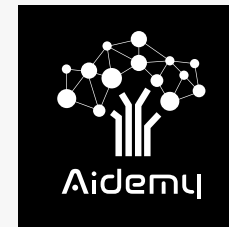
ソリッド - ネガティブ表示



ソリッド - ネガティブ表示



ソリッド - ネガティブ表示



Color Contrast

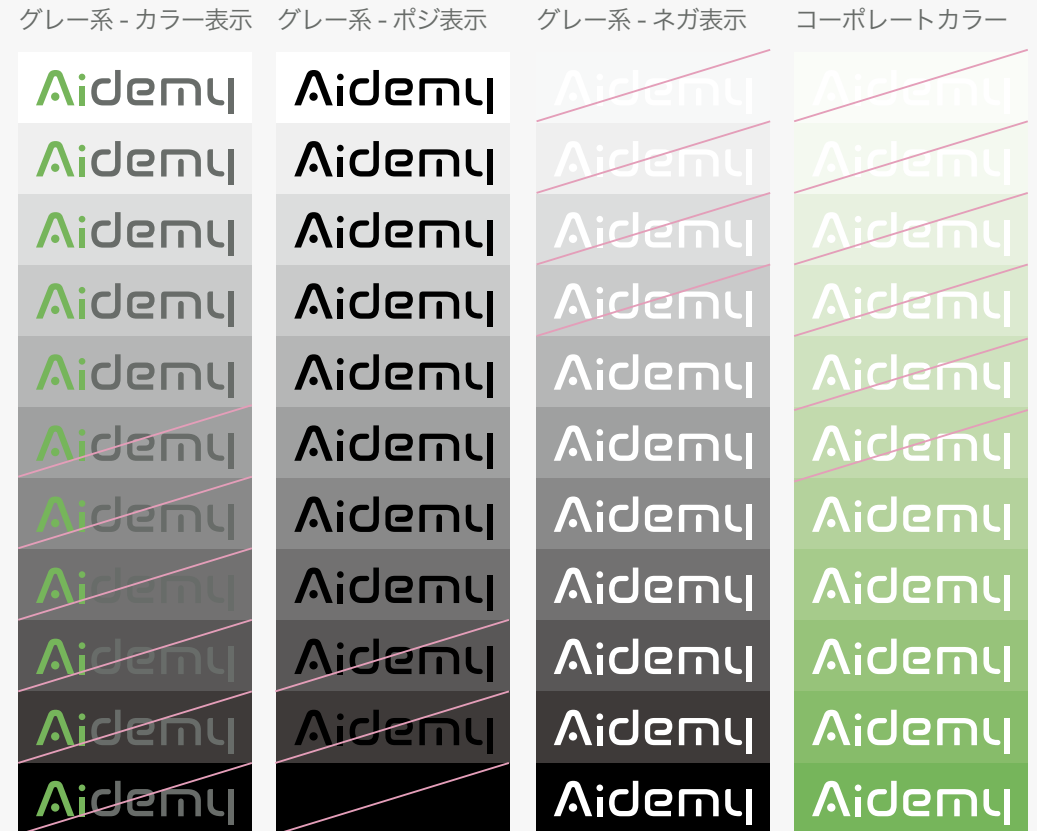
表示色とコントラスト

コーポレートロゴを表示する際は、コントラストの得られない表示にならないよう、次のチャートを参考にして、常にコーポレートロゴが明瞭に視認できることが望まれます。表示色と背景色の関係は、紙質やインク濃度の違いなどによって異なりますので、チャートの % を目安として表示してください。

背景色とコーポレートロゴの視認性

カラーやモノクロの背景において彩度や明度の違う条件でコーポレートロゴを表示しないといけない場合があります。この場合、ロゴ全体がはっきりと判読できるよう表示する必要があります。

表示媒体によって対応できるカラーパターンを設定していますので、チャートを参考にコーポレートロゴの視認性を確保してください。



Background Image

イメージ背景に対するロゴタイプ

イメージ背景に対するコーポレートロゴの見え方を示しています。展開にあたっては下記を参考に、背景に対してコーポレートロゴがきちんと認識できることを確認し、適切な表示を行ってください。

背景使用における視認性の確保

カラーの写真やイラストなど、複雑な背景の上にロゴを掲載しないといけない場合があります。掲載される媒体によって対応できるカラーパターンを設定しておく、コーポレートイメージを壊すことなく幅広い対応ができて便利です。ロゴ全体がはっきりと読めるように、最低限の使用ルールを決めておきましょう。



○ コーポレートロゴが
はっきりと視認できる

✕ コーポレートロゴが
はっきりと視認できない

Restrictions

ロゴを正しく表示するために

コーポレートロゴを正しく表示するための使用禁止例を示しています。形状を変えたり、クリアスペースを守らず表示を行うと会社のコーポレートイメージが低下します。このようなことがないようにロゴタイプは必ず正しい形で使用してください。

ロゴ表示の禁則事項

コーポレートロゴは、レギュレーションに添った設定で使用されることで、はじめて本来の機能を発揮しコーポレートのストラテジーを正しく伝えることができます。コーポレートロゴはコーポレートのイメージを象徴する顔と言えます。取り扱いには十分に注意してください。ロゴタイプのサイズは必要に応じて自由に変更し利用できますが、変形・加工して使用することは禁止しています。これはロゴタイプだけでなくシンボルマークも同様です。禁則事項は次の通りです。

禁則事項



変形しない



回転しない



指定の色以外に変えない



影を付けない



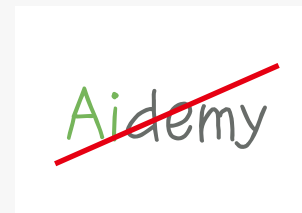
グラデーションや
テクスチャを付けない



シンボルマークとロゴの
比率を変えない



アウトラインにしない



ロゴのフォントを変えない



他の要素をかぶせたり
敷いたりしない

Typography

Font Weight

タイプフェイスと文字表現

Aidemy のコーポレートイメージを正しく表現するために、サービスや印刷広告、開示資料などのにおいて規定された英文フォント、または日本語フォントをそれぞれ使用してください。Web やスマートデバイスなどでは、規定フォントを利用することが難しい場合があるためこの限りではありません。ただし、ブランドイメージから大幅に逸脱しないフォントに代替するよう留意してください。

推奨フォントとフォントウエイト

推奨された英文フォントと日本語フォントはそれぞれ単独の使用だけでなく、英文+日本語フォントの2種類を混合して利用することが可能です。その際は同じ文章内で数字や記号を表示するフォントは1種類になるように注意を払いましょう。これは異なるフォントが混じることによって誤読される可能性があるためです。フォントのサイズや太さの加減は表現すべき内容に応じて自由に変更し利用できますが、文字に極端な長体をかけるなど可読性を損なうような変形・加工は避けましょう。また、使用できる色彩表現はロゴタイプ並びにシンボルマークに準じます。Aidemy が推奨するフォントは次の通りです。

英文フォント

Myriad pro Light

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ012345,./;#\$\$@*

Myriad pro Regular

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ012345,./;#\$\$@*

Myriad pro Semibold

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ012345,./;#\$\$@*

Myriad pro Semibold

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ012345,./;#\$\$@*

日本語フォント

ヒラギノ角ゴ Pr6N W3

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森

ヒラギノ角ゴ Pr6N W6

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森